

【2025 年対応版】コンプライアンスハンドブック（医療・福祉団体向け）

（監修：RESUS 社会保険労務士事務所）

【目次】

第1章 コンプライアンスとは何か

- 1-1 法令遵守と倫理行動の重要性
- 1-2 コンプライアンス違反がもたらすリスク
- 1-3 組織としての基本姿勢

第2章 職員としての基本行動

- 2-1 職務専念義務と公私の区別
- 2-2 利益相反の禁止
- 2-3 守秘義務と情報の取扱い
- 2-4 出勤・勤務・報告に関する誠実義務

第3章 ハラスメントの防止

- 3-1 パワーハラスメント・セクシュアルハラスメントの禁止
- 3-2 マタニティハラスメント・パワハラグレーゾーン事例
- 3-3 相談窓口と内部報告の流れ

第4章 個人情報と情報管理

- 4-1 個人情報保護法の基本
- 4-2 患者・利用者情報の取扱い
- 4-3 SNS・写真・音声データの管理
- 4-4 デジタルデータ・文書管理のルール

第5章 職場の倫理と公正取引

- 5-1 贈答・接待・利益供与の禁止
- 5-2 内部通報制度の利用方法
- 5-3 不正防止・通報後の対応
- 5-4 公務員倫理・関連法規（社会福祉法人・医療法人向け）

第6章 法令違反時の対応

- 6-1 報告義務と内部対応
- 6-2 再発防止と教育の徹底
- 6-3 懲戒処分と刑事責任の関係

付録

- ・相談窓口一覧（内部・外部）
 - ・関連法令リスト
 - ・改訂履歴（2025 年 4 月改訂）
-

【第1章 抜粋版】

1-1 法令遵守と倫理行動の重要性

私たちは、医療・福祉サービスの提供を通じて、利用者の生命・健康・尊厳を守る責任を負っています。

そのため、単に「法律に違反しない」というだけでなく、**社会的信頼を損なわない誠実な行動**が求められます。

コンプライアンスとは、「法令・就業規則・倫理・社会的常識に従って行動すること」です。

日々の業務判断において、「法的には問題ないか」だけでなく「それは職業倫理に照らして適切か」を考えることが大切です。

1-2 コンプライアンス違反がもたらすリスク

コンプライアンス違反は、個人の問題にとどまらず、組織全体の信用を失墜させます。

具体的には以下のようなリスクが生じます。

- 行政処分（指定取消・業務停止等）
- 補助金・委託費の返還
- 利用者・家族からの損害賠償請求
- SNS・報道による社会的信頼の喪失

「一人の不適切な行動が、組織全体の信頼を壊す」ことを常に意識し、日常業務の中で自らを律する必要があります。

1-3 組織としての基本姿勢

本団体は、全ての役職員が法令・倫理に基づき行動することを基本方針としています。

そのため、以下の原則を定めます。

1. 法令遵守の最優先

いかなる場合も「法令・規程に反する指示」は行わず、受けた場合は速やかに報告する。

2. 誠実・公正な対応

利用者・取引先・職員間のいずれにおいても、差別・不正を排除し誠実に対応する。

3. 報告・相談の徹底

迷ったとき、判断に不安があるときは、必ず上司または相談窓口へ報告・相談する。

これらの原則は、団体の信頼と持続的な発展を支える「行動の基準」です。

（以下、第2章以降に続く）